



略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。43歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部企業団体局次長、学生局次長、金沢支部支部長。



「横浜市会第4回定例会」 一般質問より

12月8日の本会議にて、公明党を代表して一般質問に立たせて頂きました。皆さまから寄せ頂いた声、各所への視察・研究結果を基に、16項目35問にわたり市政の課題を指摘し、改善への提言をさせて頂きました。以下抜粋してご報告致します。

市会ホームページのインターネット中継もご覧ください

今回の質問の詳細は、市会ホームページのインターネット中継でもご覧になれます。
【URL】 <http://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp>



防災・減災対策

▶学生消防団員の入団促進

大学の単位としての認定など、学生消防団員の入団促進への全庁的な取組みを要望。

市長答弁 大学等と協議を進め、さらに活動しやすい環境を整えます。

消防団活動を通じて、多世代との交流機会も増えるため、自治会町内会活動にも参加しやすくなり、新たな担い手となって頂くことにも期待ができます。

▶大規模延焼火災への消火対策

震災時における大規模延焼火災の、消火対策の強化を要望。

市長答弁

防火水槽の整備や組み立て式の大形水槽を導入します。また海や川から大量に送水するための車両の整備や消防艇の有効活用により消火対策を強化します。

▶感震ブレーカーの設置促進

木造住宅密集地域において感震ブレーカーの設置が更に進むよう、無償配布や設置補助など、新たな方策の検討を要望。

市長答弁 現行の自治会町内会に対する購入補助の申込みの動向を見ながら、更に普及促進を図る方策を検討します。

市長答弁

教育環境の充実

▶ハマ弁

市長より今年4月からの値下げを発表。ごはん・おかず・汁物の3点セットが現行より90円安い300円、これに牛乳を付けたフルセットが340円で、130円の値下げに。私からは品質の維持と喫食率向上のための取組みを要望。

教育長答弁 PR動画の導入などで来春の新入生向けのPRを強化します。また献立の内容や品質は従来通りとします。

▶教員の福島県への派遣研修

学校での原発避難者へのいじめ防止のため、公明党が提案し実現した福島県環境創造センターへの教員派遣研修について、その成果を確認するとともに、研修の継続を要望。

教育長答弁 いじめの防止はもちろん、被災地の農産物などに対する風評被害を防ぐことにもつながるため、今年度も継続します。

▶保育士確保及び処遇改善

公明党がかねてから重点政策の一つとして掲げてきた「幼児教育無償化」が進むことにより、さらに重要になるのが、待機児童をゼロにしていこうと、質の高い保育・教育を提供するための優秀な人材の確保です。そこで、保育の現場からの切実な人材不足の声を踏まえて、保育士確保の取組み強化と、更なる処遇改善を要望。

市長答弁 全力で事業者の保育士確保を支援し、更なる処遇改善に努めていきます。

▶発達障害への対応

保護者の障害理解の促進、学校現場での対応力の向上、包括的な支援体制の構築を要望。

市長答弁 発達障害検討委員会を設置し、未就学期から学齢期、成人期の切れ目ない支援を検討。また、医療・保健・福祉・教育などが連携した包括的な支援体制を推進します。

国際都市・横浜の使命と課題

▶持続可能な開発目標SDGsの推進

国際都市・横浜として、市内での着実な施策の実施と、国際社会をリードするという両面から、SDGs達成に向けて取組を進めるべきと指摘。

市長答弁 今後の計画の策定や施策の推進について、SDGsの視点を大事にして取組みます。

▶横浜の貴重な海の資源の保全

金沢区近海の高苔やワカメ、アナゴなど、横浜に残された貴重な海の資源を、本市として、しっかりと守っていくべきと指摘。

市長答弁 市民、企業の皆様と共に海の資源の回復に努め、豊かで賑わいのある海としていきます。

▶犯罪被害者等支援

犯罪被害者支援は、防犯対策と同様に、市民生活の安心確保につながるものであり、横浜を訪れる来街者の皆さまのセーフティネットとしても、犯罪被害者等条例の制定が必要であると指摘。

市長答弁 被害者支援の有効な方法の一つとして、制定を検討します。

超高齢化社会への課題

▶高齢社会における移手段の確保

商業施設等が独自に行う送迎サービスとの連携など、超高齢社会に対応した効果的な交通施策の推進に全庁を挙げて取組むことを要望。

市長答弁 地域交通サポート事業でのこれまでの実績を活かした送迎バスの運営主体への積極的な支援など、交通サービスの充実を図ります。また現在改定中の横浜市交通計画の中でも効果的な施策の推進に向け、様々な視点から検討します。

▶自立支援・介護予防

介護費給付の抑制、高齢者のクオリティオブライフの向上のため、自立支援・介護予防に更に力を入れることを要望。

市長答弁 地域ケア会議に、更に多くの専門職が参加する体制を確保するなど、自立支援・介護予防に向け、より効果的な方法を検討します。

▶孤立死防止の取組み強化

地域の見守り活動を担う民生委員の負担軽減、また不動産事業者のご要望の事故物件の未然予防の観点から、孤立死防止の取組み強化を要望。

市長答弁 関係者や協力事業者との一層の連携に努めます。生涯未婚率の上昇や核家族化の進行等により、一人暮らし世帯が増えており、今後も増え続けることを考えると、更に切実な課題となります。更なる取組強化を求めて参ります。

▶市営住宅の再生

金沢区内にあるフロ無し住宅を念頭に、築50年を超え機能性の著しく低い住宅の早急な建替・再整備を要望。

市長答弁 優先的な建替の検討を進めます。その直後の常任委員会では、市営住宅の再生に関する基本的な考え方が示され、具体的な事業化に向けた再生プランの構築が進められることになりました。

余録 支援者の皆さまに感謝!

当日は地元・金沢区より、多くの支援者の方々が傍聴・応援に駆けつけて下さいました。温かい真心に感激です!心より感謝申し上げます。



視察「子育て世代包括支援センター」

12月18日、南区役所へ。公明党が推進し同区でモデル実施されている子育て世代包括支援センター事業を視察。全ての妊婦と面接を行い、出産・子育ての相談を受け、サポートを行う母子保健コーディネーターの方々などから、これまでの実績や現場での課題を伺いました。早期の全区展開を目指して参ります。



短信「区民の皆さまと共に」

冬の風物詩「もちつき」

12月の週末は好天に恵まれ、各地で餅つき大会が賑やかに開催。私も並木地域、東朝比奈地域などを訪問、楽しく交流させて頂きました。



忘年会もいろいろです

12月10日、地元・並木の有和会(老人会)素人演芸大会へ。カラオケはもちろん、手品や寸劇まで飛び出し、皆さま芸達者です。たくさん食べて、大笑いして、お元気で何よりです。私も飛び入りで一曲…。



六浦・六浦東成人ソフトボール同好会

11月26日、リーグ最終戦。白熱した試合を観戦し、閉会式に出席させて頂きました。皆さま、無事故で怪我なく充実したシーズン。お疲れ様でした!

党金沢支部・地区委員会

12月18日、金沢区役所にて。1年間の皆さまのご尽力に感謝申し上げつつ、市政と翌年の取組みについてご報告。



皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX: 045-345-4345

たけのうち猛
オフィシャルサイト
takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は
こちらから!



空メールを
送信してください